

「地域資源活用による 交流型体験の里づくり事業」

第24回 活動報告

■里づくり事業の今後に向けた中間報告結果の概要

急速な少子・高齢化への対応に向け、令和2年からスタートした「里づくり事業」も神奈川県
の支援事業としては本年度で終了し、次のステップを迎えようとしています。

昨年11/8に県の中間報告会があり、専門家のアドバイザーの方々から今後に向けての貴重
なご示唆をいただきました。

○地域の方々が、地域の良さを再認識して活動に自信をもっていくことが新しい連鎖を生み
出していく。数年後を見据えた自走化できる組織づくりが大切だ。

○他の組織との連携、多世代の連携はこれからの社会に貢献できる素地になる。

○介護予防の観点からの取組みも一策となる。県内他市町村の参考にもなる期待ができそう。

この事業をきっかけに城島に転入された方、新しい農に取り組もうと手を挙げていただいた
方もいらっしゃいます。課題はまだ多いですが、思いを一つに次のステージに進んでいけ
るようにしていきたいと思えます。

11/8の県中間報告会については下記「地域の支え合い仕組みづくり事業」をご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/tiikinosasaeai.html>

令和4年度 地域の支え合い仕組みづくり事業
中間報告会 (令和4年11月8日)

高齢者活躍の仕組みづくり支援分野

地域資源活用による 交流型体験の里づくり

城島活力創造推進協議会

第2 進捗状況

②令和4年度の実績/成果

- 第2回きじまるシェ
4/23 (土) 田植え祭のけんげたんぽ
・物産野菜販売/野菜パンの販売
・事業紹介/米/米づくりの展示
・健康チェック/健康・葉お知らせ
・ふれあいコンサート/花モニメント
・参加費 約350名 スタッフ 約70名
- 「健康」に関連する企
連携会の拡大、PR
→地域包括ケアセンターの前
野菜を使ったパン販売等、
た健康テーマの関係機関と
→高校生の新着なインスタ
- 第2回 米・野菜づくり体験教室
4/16 (土) ~10/15 (土) 7回
→うち農のため2回中止
・田植え/稲刈り
・野菜給付/収穫
・参加費 22家族 スタッフ総約100名
・参加費 1万円/家族

④これまでの取組みを通じた課題と地域の変化

①課題

- ▲地域内での活動理解・浸透のさらなる拡大
→公民館によりに加え、HPやインスタグラム等での
口頭情報発信により、活動への参加、企業家等へ
- ▲自主運営を見据えた体制・資金面の整備
→これからの新しいスタイルでの持続的運営、地域
代の意欲のある人材の参加や資金確保する仕組み

②地域の変化

- 既存地域活動団体との連携の兆し
→体験的試行において「公民館事業」との共催や
「協力等、小・中学生の参加や親世代が参加
」でも実現性があるなど、さらなる連携を
- 地域交流の場としての体耕地、遊休地、
→野菜づくり体験での体耕地利用、デイキャ
ンション(まなびサロン化)等、学びの場や交流
場が動きだすこと、多様な活用可能性がある

おわりに

共創社会における身近に農・学びがある暮らし・地域づくり

高齢者はじめ多世代が交流する持続性ある地域運営
高齢者の経験とスキルを活かす「健康」と「生きがい」の創出
「城島スタイル」の発信

かながわガーデンエリア・モデルに向けて

城島地区キャラクター

↑ 11/8 県中間報告会での説明資料の一部

■今後の活動予定

○2/25 (土) 13時から「城島公民館祭り」にて里づくり事業の活動報告を予定しています
里づくり事業に関連する活動は下記をご覧ください。

* HP 「城島へようこそ！」 <https://hiratsuka-kijima.jimdofree.com/>

* インスタグラム 「kijimarche」 <https://www.instagram.com/kijimarche/>

* 里づくり事業実行委員会 (城島公民館内) 0463-55-1525

